

# 形原中学校 オープンハウス 結果概要

---

# オープンハウス開催概要

生徒は各教室のプロジェクターに映し出された資料をもとに、なぜ公共施設マネジメントが必要なのか、今年度形原地区で開催している「まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」について学びました。授業の後半では、将来の形原地区を考えるグループワークなどを行いました。

## 日時

令和4年11月25日(金) 1時限目  
(午前8時45分～午前9時35分)

## 参加者

3年生(125人)

※3組に向けて実施し、他組は先生による授業にて実施

## 内容

- 1 「公共施設マネジメント」ってなに？
- 2 ワークショップの進捗状況を学ぶ
- 3 グループワーク 「形原がどのようなまちになってほしい？」
- 4 グループ発表
- 5 市役所からのお願い



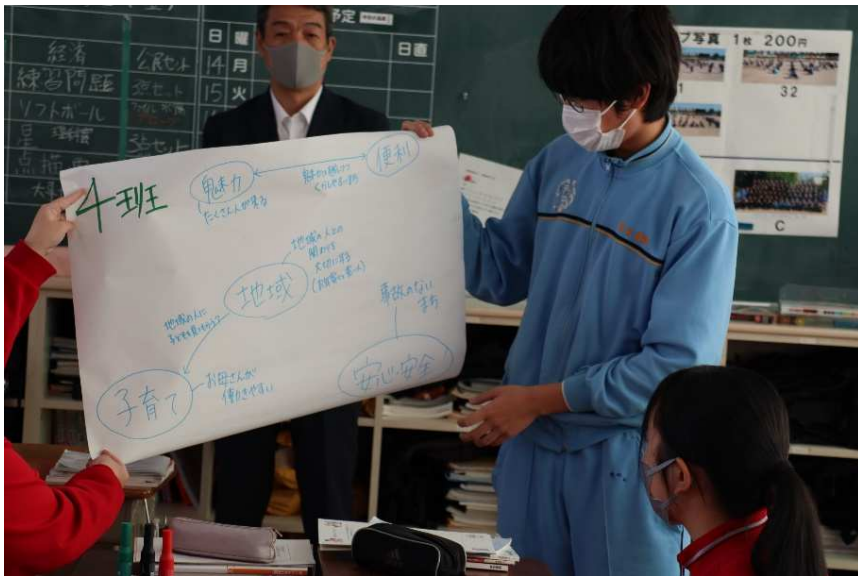
## 形原の理想の公共施設ってなんだろう？

“こんなまちになったらいいな”という将来の形原地区の理想像、その理想像に近づくために必要なもの(建物・サービス等)の2つについてそれぞれ考えました。



# グループワーク

考えてもらった事についてグループに分かれて、それぞれ発表しました。グループ内で出た意見を用紙にまとめました。



# 生徒の意見(一部抜粋) Part.1

“こんなまちになったらいいな”という形原の理想像

大人になっても「このまちに住みたい」と思える

みんながあいさつができる礼儀正しいまち

自然の豊かさを利用したリラックスできるまち

きれいで美しいまち

ゴミが落ちていないきれいなまち

町民にとって便利で過ごしやすいけど、形原の田舎の良さは残っているあたたかいまち

子どもがのびのびと過ごせるまち

子育て支援が豊富なまち

子どもからお年寄りまでみんな楽しく共生していけるまち

地域の人と合同で部活動をやりたい

色々な年代の人たちが交流できるまち

年齢関係なく、誰もが快適に過ごせるまち

子どもからお年寄りまでスポーツが楽しめるまち

## 生徒の意見(一部抜粋) Part.2

“こんなまちになったらいいな”という形原の理想像

SNSをうまく利用できるまち

障がいのある人でも過ごしやすく、いろいろ便利になるような工夫がされているまち

買い物をしやすく、過ごしやすい安全なまち

商店街や小さな自営業のお店がたくさんあって、いろんな所から観光客が来る

新しく形原に住みたい人が増えるまち

海外から来る外国人や障がいを持った人が利用しやすい

若い世代がこの先もずっと形原を担っていけるような環境

公共施設が充実している

災害が起きて避難したときに助け合える

安全で不便のなく過ごしやすいまち

高校に通いやすい交通に便利なまち

観光業にばかり力を入れるのではなく市民の意見もしっかり反映してくれる

## 生徒の意見(一部抜粋) Part.3

理想像に近づくために、必要なもの(建物・サービス等)

お年寄りが運動しやすい場所

公民館や児童クラブでお年寄りに昔の遊びや伝統文化を教えてもらう

家で集中できない、塾に行きたいけどいけない人たちが勉強できるスペースを作る

海に面しているからこそ津波対策でなるべく高いところに建物を建てる

形原のことをたくさん知ったり伝統を残していけるような体験教室を、公民館だけでなく学校でも行くと学生が行きやすい

雨の日でも遊べる施設

子育て世代、高齢者、働く世代などさまざまなニーズを生かした公民館

全年齢対象のイベントをつくり交流を深める

小学校や保育園で地域の人にまちの伝統などを教えてもらう

無料で室内で遊べる場所

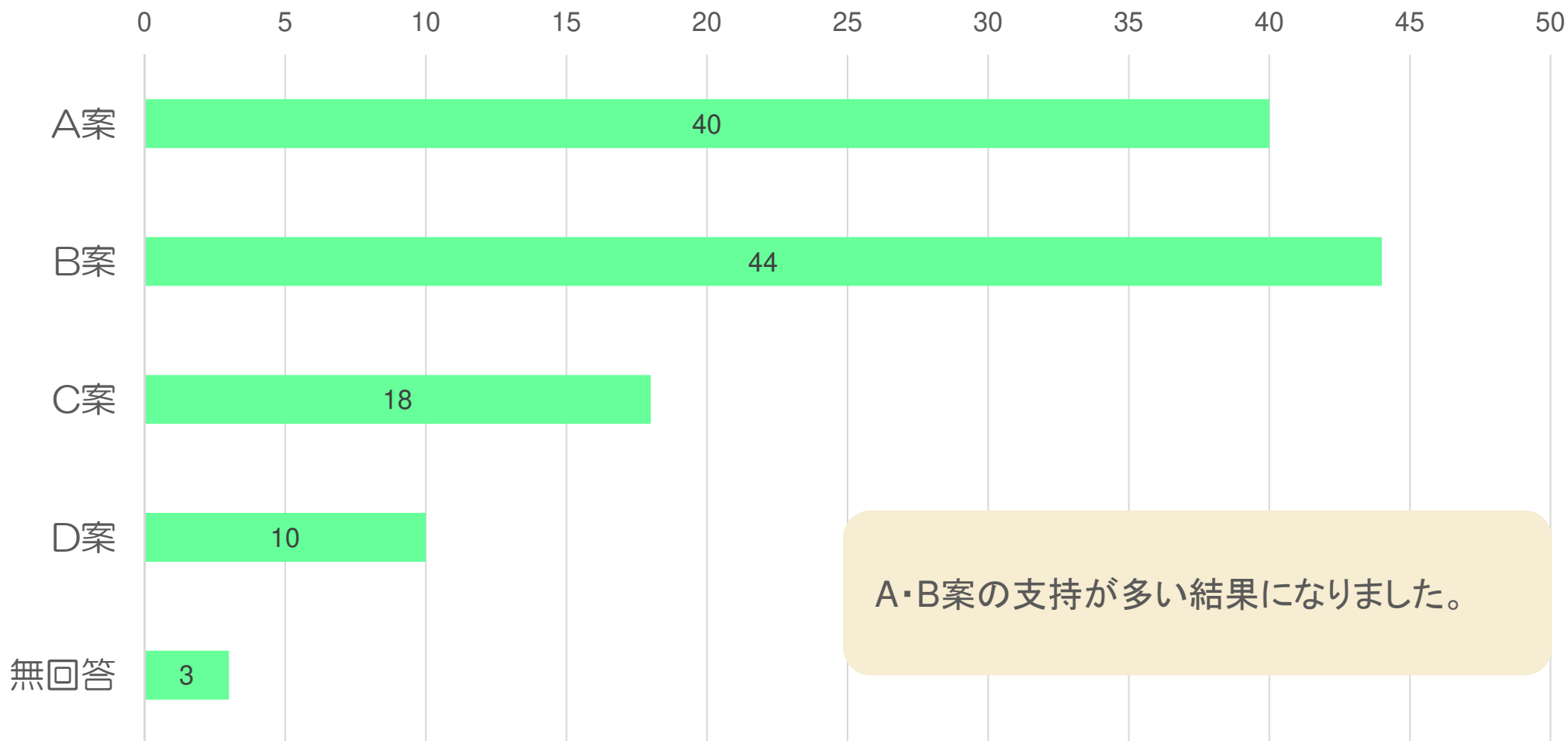
歩道がしっかり確保された道

みんなが快適に過ごせる芝生のある広い公園

施設を建てる際には、足などが悪い人のためにエレベーターを設置したい

いろんな遊具やスポーツができる施設をつくる

## 問：公共施設の再配置プランで、どれが良いと思いますか



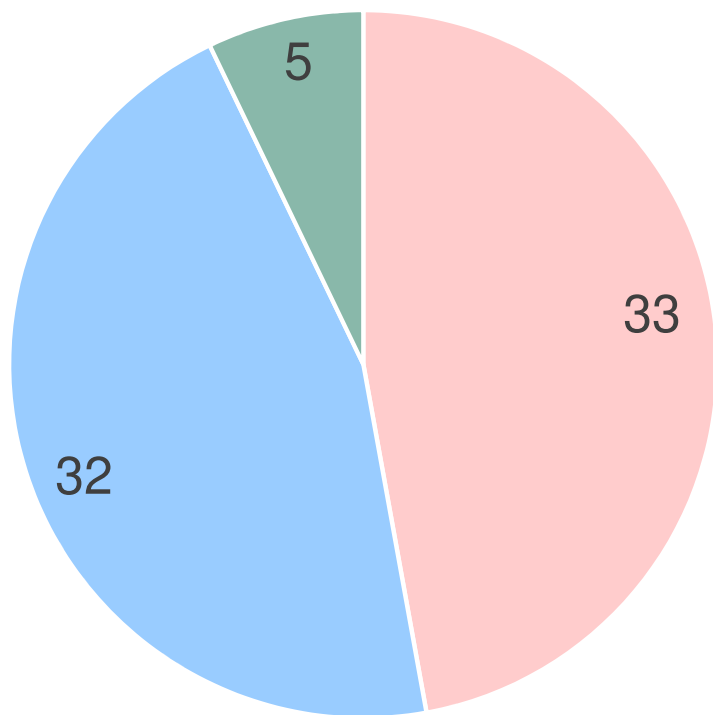
※ アンケートの回答をもとに作成



# 中学生向けアンケート

形原北小学校出身生徒には、「もしC・D案になったら形原中学校で勉強することに不安を感じますか」と質問しました。

C・Dは不安を感じるか



■ はい ■ いいえ

形原北小学校出身の生徒70人が解答し、「はい」「いいえ」がほぼ半数に分かれました。

## 問：理想に近い再配置プランはどれですか【中学生】（1/4）

選択	分類	理由
A案	多様な交流の促進	中学生と保育園児だったら、中学生が気にかけてあげることができて、触れ合うことと、安全も確保できると思った。
		中学生だと保育園の子たちとも上手に付き合うことができるとおもったから。
		中学生との関わりも大切。
		中3の家庭科学習で幼児の勉強があるので、関わりが増えたらいいなと思う。
	利用しやすい施設配置	自分が生活している中で楽しく過ごしやすいと思ったから。
		形原中、形原小の敷地が狭くなり過ぎないのでいいとも思った。
	駐車場の確保	形原では、車で保育園に行く人が多いイメージ。駐車場が多いと保護者の方が助かると思うから。
		保育園のお迎えに来る人が多いため駐車場が広くないと駐車待ちをしないといけない。
		どこの保育園も駐車場が狭くて毎日同じ時間帯に混雑しているので、駐車場を確保できる点でいいと思った。
		駐車場が確保できたら混雑が減る。
	現状の配置を維持	他のプランでは駐車場を十分に確保できておらず、近隣に迷惑になる。
		長く続いた学校をつぶすのはもったいないと思ったから。
	中学校、保育園の集合	自分が形原小出身なので校舎が残るのうれしい。
		小学校と中学校を一緒にしたくない。中学校と保育園を一緒にした方がトラブルが起きなくて安全。
	安全安心	形原北小の方をみると、保育園もその敷地に含むので子ども同士の関わりも増えるように感じる。
		保育園への送り迎えの時間が小学校の登下校とかぶってしまうと生徒も危ないし渋滞してしまうので、それぞれ同じにしまえば楽になるのかなと思った。
現状では交通渋滞して中学生が帰るときに危ないから。		
		形原中と形原保育園の間の狭い道をなくせるのはありがたい。

## 問：理想に近い再配置プランはどれですか【中学生】（2/4）

選択	分類	理由
B案	多様な交流の促進	年齢が違う人同士での関わりは大切で必要だと思ったから。
		小学生と保育園の子のほうが年齢も近くて、関わりやすいと思ったから。
		小学生までに園児は小学生と、小学生と園児と遊ぶことで成長できると思うから。
		小学生が保育園児と遊んでいるときに、いろいろと教えてあげられるから。
		地域の縦割りの交流が増えると思った。
	小学校、保育園の集合	保育園児が小学校に進学するときの不安や負担を減らせるから。
		保育園と小学校が一緒だったらもっと安全だと思います。
		中学校と小学校が合わさると大きくなりすぎて少し窮屈だから、保育園と小学校がいいと思う。
		形北小と形北保育園が同じ場所なので、形原小と形原保育園を一緒にしてほしい。
		小学校の敷地に保育園と児童クラブがあるのが良いと思った。
		小学生と保育園児が一緒に遊ぶのは無理ですが学校施設の複合はしたほうがいい。
	送迎の利便性向上	親の負担が少し楽になってくれるし、命の安全性が上がるから。
		小学校と保育園と児童クラブを一緒にしたら、親が迎えに行くのが楽になると思ったから。
	集約化に対する懸念	中学校は勉強に集中できる場所であってほしいので、形原中学校に影響のないBにしました。
		CとDは負担がかかる子も少なからずいると思ったから。
	保育環境の充実	「子ども」とくくることで保育園がバラバラになることを防ぎ、保護者・保育士の負担が減ると思った。

## 問：理想に近い再配置プランはどれですか【中学生】（3/4）

選択	分類	理由
C案	多様な交流の促進	保育園から中学校までが集まることができるから今より交流が増やせそう。
		子どもの活動場所をまとめることで接触が多くなり、ふれあいが深まると思うから。
		まとめたらいろいろな学年と関われるし、小さい頃からさまざまな知識や社会性が身につくから。
		保護者のお迎えの負担が少なく、地域との交流ができるから。
		よりよく仲良くできるから。
	施設の集約化	活動場所をまとめることによって、それぞれ連携しやすいと思うし、公民館では敷地が大きくなるからいいと思う。
		子どもたちの活動できる場所が大事だと思ったから。
		幼稚園・小学校・中学校がくっついてて便利。
		形原小学校をなくしたいから、土地の無駄遣いだから。
		学校などが2か所にまとめ、児童館と公民館も1か所にまとめられて、全体的にすっきりとするから。
	利用しやすい施設配置	形原小を形原中に動かして、形原小に児童館がいくと、子どもも移動しやすくて、親も迎えが楽。
		小学校と保育園を一緒にすることで親も楽になる。児童館が双太山にあると大変だったので小学校跡に建てるのがいいと思った。
		まとめてあるほうが行事などでも使いやすい。
	保育環境の充実	大体の地区で集合することで保育園は広くのびのびと生活できるから。
	その他	子どもの活躍を見たいから。
		小さい子どもたちが楽しく過ごしてほしいと思った。

## 問：理想に近い再配置プランはどれですか【中学生】（4/4）

選択	分類	理由
D案	施設の集約化	子どもが少ないから、2つの学校を合わせても多くなり過ぎないと思うから。
		形原北小、形原北保育園の敷地に2つをまとめると形原北小は広いし、保育園児も楽しめそう。
	保育環境の充実	広い保育園で成長してほしい。
		広い保育園でノビノビできると広く遊べるから。
		保育園を豊かにできるから。
		小さい子にとって育つ場は大事だから。
		広い保育園というワードが良いと思ったから。
	その他	元気にノビノビ暮らせて、平和だと思ったから。

# 保護者向けアンケート

生徒の保護者にも「公共施設マネジメント」を知ってもらうため、チラシを作成し周知しました。また、生徒には「形原地区全体で考えていくことが重要であるため、授業の内容や学んだことを家族に話してほしい」と伝えました。

チラシでお知らせ

## 形原中学校 3年保護者の皆さまへ 浦郡市 総務部 公共施設マネジメント課

浦郡市では、今後の社会情勢の変化を見据え、公共施設の維持更新費用で将来に過大な負担を残さないため、施設保有量や管理方法等を見直す取り組みを行っています。中でも、地域住民の皆さまが主な利用者となる公共施設（小中学校・公民館・保育園・児童館）については、ワークショップ等でご意見を伺いながら将来の施設配置や使い方を示す「地区個別計画」の策定を進めています。

本日、形原中学校の先生方のご協力により「形原地区の公共施設」をテーマに出張授業を行い、将来地区内にあったらいい公共施設について様々なご意見をいただきました。

将来にわたって住み続けたい地域を実現できる計画にするためには若い世代、子育て世代の方のご意見が非常に大切です。以下のアンケートにご協力ください。

### アンケート

中に記載の取り組みの背景等をご確認のうえ、以下のQRコードからご回答ください。

- Q1) あなたの年齢を選択してください。  
〔 10～20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代以上 〕
- Q2) あなたのお住まいの小学校区を選択してください。  
〔 形原 ・ 形原北 ・ その他 〕
- Q3) Q2)で「形原北小学校区」と回答した方  
C・D案の場合、お自身が形原中学校を勉強することに教育面で不安に感じますか？  
〔 はい ・ いいえ 〕  
理由
- Q4) 公共施設の再配置プラン案について、あなたの理想に最も近い案はどれですか。（中面をご覧ください。）  
また、その案を選択した理由を教えてください。  
〔 A案 ・ B案 ・ C案 ・ D案 〕  
理由
- Q5) 形原地区にある公共施設（保育園、児童館、小学校、中学校、公民館）に関するご意見や、新しい施設でやってみたいこと等があれば教えてください。

ご協力ありがとうございました。

回答期限：令和4年12月11日（日）  
アンケート回答用QRコード→



### 取り組みの背景

#### 浦郡市の現状と課題

- 人口減少と少子高齢化が進んでいます**  
浦郡市の人口は、約40年後の令和42年には現在から約2万人減少し、60,961人（市目標値）になると推計されています。市全体の人口のうち年少人口・生産年齢人口が減少し、65歳以上の高齢者人口が占める割合が増えています。今後、高齢者人口割合の増加により扶助費など「ト」にかかる費用が増え、公共施設などの「モ」にかかることのできる費用が減っていくことが想定されます。
- 時代とともにニーズが変化しています**  
社会構造の変化により、共働き世帯や高齢者世帯などが増えました。それに伴い、子育てしやすい環境づくりや高齢者支援の充実など、ニーズも変化しています。ソフト（提供サービス）だけではなく、ハード（公共施設）の面からも、このようなニーズの変化に対応していく必要があります。
- 施設の老朽化が進んでいます**  
浦郡市の公共施設の多くは、人口・経済ともに右肩上がりだった昭和50年代までに建設されました。市が保有する公共施設のうち約7割が建設後30年以上経過しており、老朽化が進んでいることから、今後施設の安全性を確保するため、大規模な改修・建て替えが必要となってきます。
- 施設の維持・更新に多額の費用が必要で**  
近い将来、多くの公共施設の改修・建て替えが必要になると想定されています。全ての施設を同じ規模で維持し続けるには多額の費用が掛かることが見込まれており、現在の浦郡市の財政状況では、その費用をまかなうことは難しい状況です。

#### 公共施設マネジメントとは

公共施設マネジメントとは、「質・量・投資」の3つの視点から公共施設を総合的に管理する取り組みです。先述の課題を解決するため、全国の自治体でこの取り組みが進められています。

- 「質」：時代とともに変化するニーズに対応可能で使い勝手がよく、より多くの方に利用される施設づくり
- 「量」：人口規模や財政状況を踏まえ、将来世代の負担とならないような施設保有量
- 「投資」：施設の安全面や今後の需要等を踏まえ、効率的な改修・建て替えの優先順位づけ



#### 地域の皆さまのご意見を伺いながら取り組みを進めています

上記の背景を踏まえ、地域の方が主に利用する施設（小中学校・公民館・保育園・児童館）は、地域住民の皆さまのご意見を伺いながら、将来の施設の配置や使い方を定めた「地区個別計画」策定の取り組みを行っています。今年度は形原地区でワークショップを開催しています。

#### ワークショップでいただいた地区の将来を考えるにあたって大切な7つの視点

- 多様な人々との交流
- 子育てしやすい環境づくり
- 子ども達の居場所づくり
- 地域の活性化
- 高齢者の活躍
- 安全・安心
- 利便性の向上
- 効率的な施設配置



いつまでも住み続けたい地区、住み続けられる地区でありたい、という趣旨のご意見をたくさんいただいています。（詳しくは広報とともに配布しているかわらばんをご覧ください。）

### 形原地区の再配置プラン案

皆さまから頂いた8つの視点を踏まえ、4つの再配置プラン案を作成しました。（アンケート）

全案に共通する考え方：保育園2園を統合することで、低年齢児保育や延長保育

#### A 保育園への利便性を確保するプラン



「保育園の駐車場の確保してほしい」等のご意見がもたれています。

**特徴**  
・小学校、中学校の敷地に保育園が集まることで、保育園のお迎え時の駐車場の確保ができる。  
・形原中学校・形原保育園敷地に中学校と保育園が集まることで、異なる年齢間の交流や災害時の連携に取組みやすい。

**課題**  
・形原中学校敷地の保育園と形原小学校敷地の児童クラブが離れてしまうため、お迎えの負担が大きい。

#### B 子どもの交流の充実を図るプラン



「小中学校と保育園が隣接すると、子ども同士の交流や親の送迎、災害時の避難などメリットがある」等のご意見がもたれています。

**特徴**  
・小学校・保育園が集まることで、異なる年齢間での交流が期待できる。  
・児童クラブと保育園が集まることで、お迎えの負担が軽減される。

**課題**  
・形原小学校敷地では、十分な駐車場ができない。

#### C 多世代交流の拠点をつくるプラン



「小学校や中学校に保育園を統合することで親にも良い影響があると思う」「地域の人が交流できる場所が欲しい」等のご意見がもたれています。

**特徴**  
・形原中学校・形原保育園敷地に、小中学校・保育園・児童クラブが集まることで、多世代交流の拠点が整備される。  
・将来的に公民館・児童館が集まることで、高齢者と子どもとの交流拠点となる。

**課題**  
・現状の教育形態では、形原北小学校に通う児童は、中学校入学時から合流することになる。

#### D 保育環境の充実を図るプラン



「保育園が古くて狭い」等のご意見がもたれています。

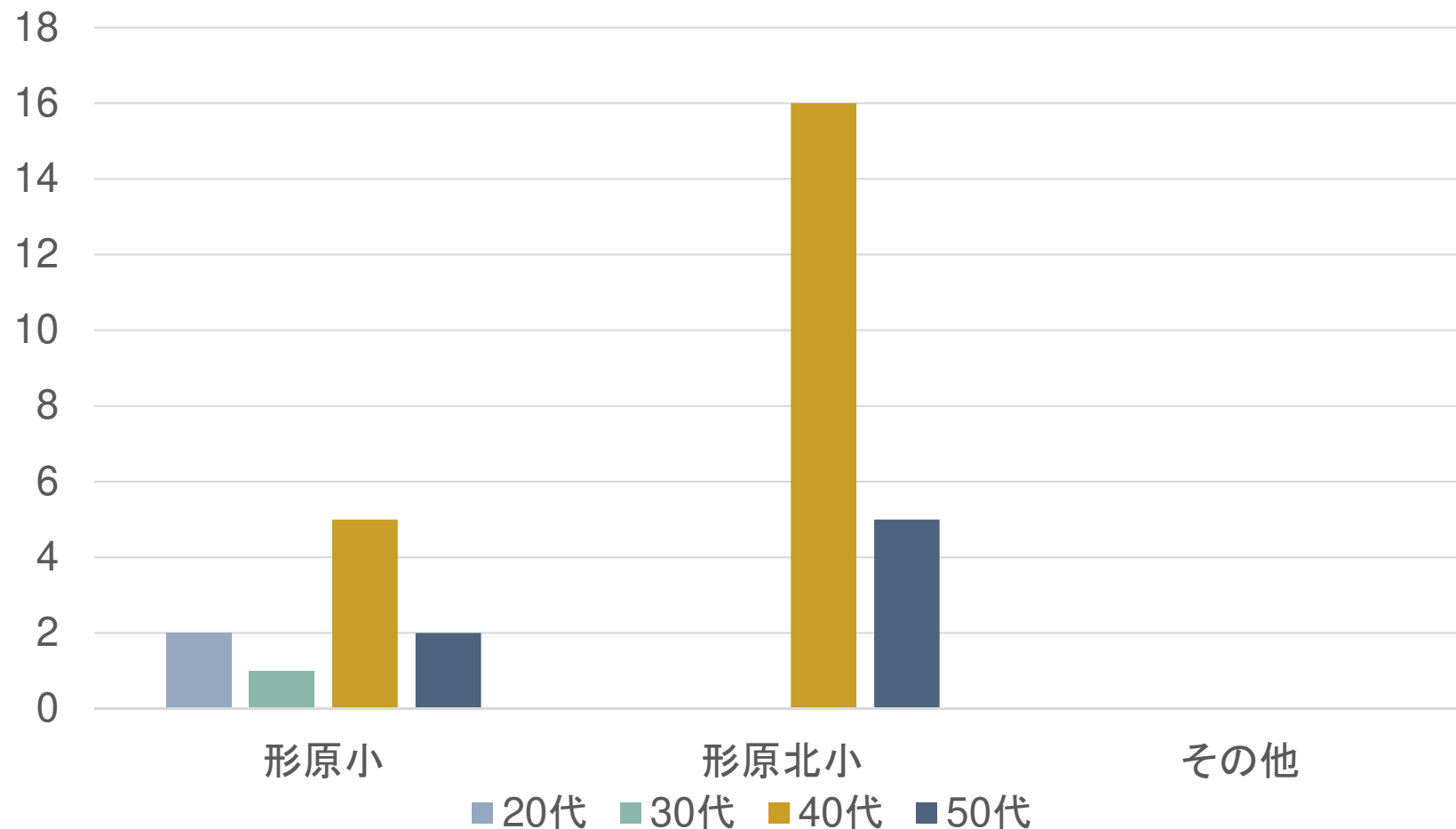
**特徴**  
・形原小学校移転後の跡地を活用して、駐車場や園庭などに余裕がある使いやすい保育園を整備できる。  
・形原中学校・形原保育園敷地に中学校・小学校が集まることで、合同での行事実施など教育環境が充実する。

**課題**  
・現状の教育形態では、形原北小学校に通う児童は中学校入学時から合流することになる。  
・児童クラブと保育園が離れるため、お迎えの負担が大きい。

## 保護者向けアンケート結果(回答者属性)

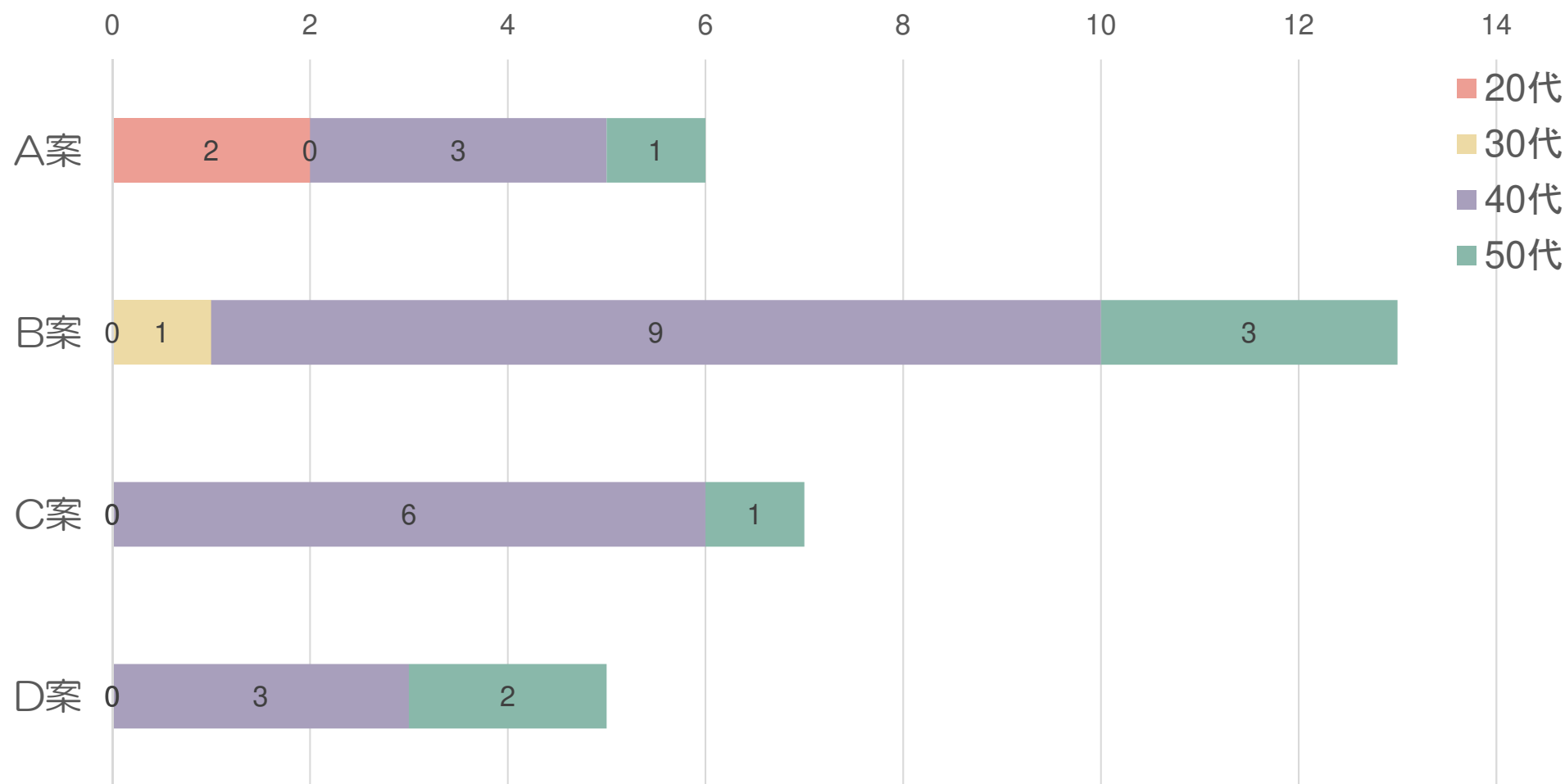
生徒全員にチラシを配布し、そのうち保護者31人より回答をいただきました。

### お住まい及び年齢



## 問：公共施設の再配置プランについて、理想に近い案【保護者】

B案を選ぶ方が多く、その他の案はほとんど差はありませんでした。



※ アンケートの回答をもとに作成



## 問：理想に近い再配置プランはどれですか【保護者】(1/2)

選択	分類	理由
A案	駐車場の確保	保育園の駐車場の確保。 駐車場があると安心するから。
	利用しやすい施設配置	敷地と施設の規模を考えると一番妥当のように思う。保育園と児童クラブのお迎えは駐車場の問題が解決できれば、少しの負担もクリアできるのではないかと思う。
	多様な交流の促進	小学生が保育園児と遊んでるときいろいろと教えてあげられるから。 形小と形北小が合体すれば元の学校になるしにぎやかになって友達も増えるからです。
B案	利用しやすい施設配置	平等で中学校は勉強、運動がしやすい環境。保育園・小学校・児童クラブと保護者が移動しやすく利用者が利用しやすい環境だと思います。 児童館や公民館も、それぞれの年代で必要としてる人が多いと思うので そのまま維持してほしい。
	施設の集約化	地区の保育園と小学校が隣接し協力する体制は、他の市でも成功していると思うから。 この中で一番親、子供ともに負担が少なそうだと思う。保育園から小学校へ進む時にも同じ敷地内で交流があるとスムーズに進めそう。
	多様な交流の促進	歳の近い子供同士遊べるのがいいと思う。
	送迎の利便性向上	保育園、児童クラブのお迎えが同時にできる事は、すごく助かると思います。
	安全安心	災害時の避難に対するメリットがあるから。
	費用の削減	子供が減ってきて小学校の教室が余るようになったら、機能を集合させて建て替えが必要になる建物を減らすと削減になると思う。
	集約化の懸念	中学校はテストなどがあるため、敷地内に保育園があると集中できないかも。

## 問：理想に近い再配置プランはどれですか【保護者】(2/2)

選択	分類	理由
C案	多様な交流の促進	人との交流が減っている現代では、良い環境になる。
		教育施設が集まると他年齢交流がしやすい。
		できる限り同一敷地に複数の施設を集めることで地域間の関係を深め、有事の際の協力性や一体感を期待できる。
	施設の集約化	移動手段、駐車スペースが十分に確保できるのなら、1か所に集約するのがベストと思う。
	安全安心	災害時の避難所が作りやすい。
その他	みんなで子育て出来るからです。	
D案	保育環境の充実	保育園の老朽化が、気になります。また、乳児が増えてきているので、今の園の状態に合わせた設備環境を考えると良いと思います。 形原保育園は駐車場が狭いので形原小学校敷地に移転した方が送迎もしやすく、敷地も広い保育園になるから良いと思う。
	小学校、保育園の分離	学習環境を考えると、小学校と保育園は別の敷地がよい。
	施設の集約化	保育園・小学校・中学校が集合したら、子どもたちの通園・通学先の場所がずっと同じなので、通学路が変わらず通いやすいと思う。